

羽村市小中一貫教育

～義務教育9年間を通じた一貫教育を目指して～

小中一貫教育は、義務教育9年間を通して、児童・生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすことができる、きめ細かな教育を実現しようとするものです。今までは小学校6年間、中学校3年間で分けて考えていましたが小学校と中学校の指導をつなげたものとする新たな教育をつくりあげていきます。

小中一貫教育により期待される効果

中学校1年生の不登の解消
（「中1ギャップ」の解消）

学力の向上

いじめや不登校の減少

個性や能力の一層の伸長

豊かな人間性や社会性の育成

9年間の子どもの姿

児童・生徒の発達段階に応じた指導を効果的に行うため、義務教育9年間で前期・中期・後期に区分し、各指導区分のねらいを設定し重点的に指導します。

※学習や生活の場（校舎）や入学式・卒業式、制服の着用等は従来通りです。

前期（小学校1年生から4年生）は、基礎をしっかりと身に付ける時期。
学校でのきまり、学習の仕方などを含め4年間で、中期で活用できるようにしっかりと身に付けさせます。

中期（小学校5年生から中学校1年生）は、前期で学んだ基礎をもとに自ら学ぶ力を身に付ける時期。
小学校から中学校へステップアップするために自立的な学習ができるようにしていきます。

後期（中学校2年生から中学校3年生）は、前期・中期で身に付けた力を様々な形で活かす時期。
大きく広がる世界で力を発揮できるようにしていきます。

義務教育9年間を見通した滑らかな指導内容

羽村市の児童・生徒の実態に合わせて、各教科等で育てたい力を明らかにし、指導区分ごとの重点に基づいた基本カリキュラムを作成しました。この基本カリキュラムをもとに、義務教育9年間の指導内容に系統性をもたせ、継続した指導を行っていきます。

英語コーディネーター・学習コーディネーターの配置

小中一貫教育の指導体制の充実のために英語コーディネーターと学習コーディネーターを各校区に1名ずつ配置します。

英語コーディネーターは英語教育のカリキュラムに沿って外国人講師（ALT）を導入し、小学校の英語活動と中学校の英語科を効果的につなぎ、授業の質を高めるアドバイスをします。

学習コーディネーターは羽村学（郷土学習）と人間学（キャリア教育）のカリキュラムに沿って地域の人材の発掘や導入、授業の際のアドバイスをします。

つなごう∞育てよう∞いっしょに

羽村第一中学校区

羽村東小学校・羽村西小学校・小作台小学校・羽村第一中学校



交流授業



生活指導懇談会

5つのつなぐ

1 教科でつなぐ

・小学校と中学校のそれぞれの学習内容や授業方法について理解を深めます。学習内容や授業方法について連携の重点を決め、見直し・改善を図ります。(教科・領域別情報交換会)

2 生活指導・特別支援教育でつなぐ

・基本的な生活習慣(挨拶、言葉づかい、忘れ物をしない、家庭学習の習慣化)の確立を図ります。(生活指導懇談会)
 ・不登校の予防に取り組みます。支援の方法を伝え、対応への共通理解を図ります。(いじめ調査・あいさつ運動・生活指導懇談会)
 ・就学支援シートを活用し、支援の方法や関係機関との連携について情報共有します。児童・生徒の共通な見方を行えるよう、行動観察をふまえた授業観察を行い栄小学校特別支援学級と連携を図ります。(情報交換会議)

3 授業でつなぐ

・小学校英語教育(外国語活動)と中学校英語科における連携指導を行います。(英語乗り入れ授業)
 ・小学校教員と中学校教員が協力し中学校へのつながりの重点を組み込んだ授業をすることにより、小学校と中学校の接続を円滑にし、中学校生活への不安の解消を図ります。(交流授業)

4 子どもでつなぐ

・小学生の中学校訪問(施設見学・授業参観)や中学校生徒会役員の小学校訪問(ビデオ放映や質疑応答)により、小学生の中学校生活に対する不安を軽減し、期待を高めさせます。(学校相互訪問)
 ・小学校サマースクールへの中学生参加・小学生の部活動体験を通じて、小学生の関心の高い部活動に対する不安を軽減させるとともに、中学生には、指導する立場であることの自覚を高めさせ、小学生を温かく迎える心身の育成を図ります。(部活交流)
 ・羽村西小学校で行っている「星空のコンサート」を通し、羽村第一中学校区の交流を深めていきます。さらに小学校3校の連携も推進していきます。

5 地域でつなぐ

・羽村東小学校の「地域フェスティバル」また、小作台小学校の「校庭キャンプ」など、各小学校の地域行事に中学生の参加の呼びかけや、中学生による少年少女球技大会の指導・手伝いなどを通して、地域を愛する心情をはぐくむとともに、学校・家庭・地域の連携体制強化を図ります。

羽村第二中学校区

富士見小学校・栄小学校・松林小学校・羽村第二中学校

学力向上

・基礎・基本の定着を図ります。(始業前、朝学習、昼学習などの時間を使った、計算や漢字、言葉の学習)
 ・乗り入れ授業を実施し、小中の交流を図ります。(外国語活動及び算数の授業で中学校教員が乗り入れ授業・中学校1年生の入門期の授業を、小学校の教員が参観)
 ・家庭学習の充実を図ります。(家庭学習がんばり表などを使い、継続的・系統的に家庭と連携)

生活指導

・あいさつの励行と礼儀作法を育成します。(あいさつ運動)
 ・きまりを守る態度を育成します。人権教育を推進します。(いじめの根絶・交通安全教室・薬物乱用防止教室)
 ・規則正しい生活習慣を育成します。(家庭との連携)
 ・責任をもって諸活動に取り組める態度を育成します。(部活動体験)



部活動体験

～地に根ざし 明日を切り開く はぐらっ子～

個々彩々

特別活動

・小学生と中学生の合同の活動を実施し中学生のリーダーシップを育て、児童・生徒の主体的な活動を通して、豊かな人間性や社会性の育成をします。小学生と中学生の交流とともに、小学校3校の児童の交流を図ります。(合同ボランティア活動・体験入学・新入生説明会・生徒会の小学校訪問)
 ・人権教育の推進を図ります。「(「ハートフルフューチャー(人権尊重・いじめ防止等啓発活動)」の取り組みを4校合同で実施)



合同ボランティア活動

特別支援教育

・小学校と中学校で情報を共有し、一人ひとりの発達特性に応じたきめの細かい継続的な指導をします。(小学校と中学校の接続の時期に、引継ぎのための部会を設置し、個別的教育支援計画や指導計画の引継ぎや情報交換を実施)
 ・特別支援教育コーディネーターを中心に校内体制を充実させます。(各校で特別支援教育についての研修を実施)
 ・栄小特別支援学級は羽村第一中学校特別支援学級と交流活動を計画していきます。

羽村第三中学校区

武蔵野小学校・羽村第三中学校

○学力向上の取組み

・9年間の系統性のある課題に繰り返し取り組み、基礎・基本の定着を図ります。(始業前の朝自習・振り返りタイム)

・指導区分中期及び後期において、継続的・系統的な家庭学習の定着を図ります。(家庭との連携)

・小学校6年生の外国語活動及び算数の授業に中学校の教員が乗り入れ、授業を行います。中学校1年生の数学の授業に小学校6年生担任が乗り入れ、理解が不十分な生徒の学習サポートを行います。(相互乗り入れ授業)
 ・小学校6年生が中学校の授業と部活動を体験します。(中学体験)

○生活指導の取組み

・基本的な生活習慣を確立させます。思いやりのある児童・生徒を育てます。(小中共通した生活目標の設定・あいさつ運動・交通安全指導・万引き防止指導・薬物乱用防止指導)

○特別活動の取組み

・奉仕活動の喜びを体感させます。小学校6年生のリーダーシップを発揮させる場とします。小学生が中学生に憧れる気持ち、中学生が小学生に範を示そうとする姿勢を育てます。(縦割り清掃活動)

○特別支援教育の取組み

・特別支援学級児童の進路の見通しと特別支援学級生徒の精神的成長を目指します。(交流行事・交流学習)
 ・市内特別支援学級児童・生徒の実態や様子の成長ファイルを作成し、学習支援や進路指導に役立てます。(個別的教育支援計画の引継ぎ・新入生申し送り・情報交換)

○部活動の取組み

・小学生が中学生に憧れる気持ち、中学生が小学生に範を示そうとする姿勢を育てます。(部活動体験・野球部体験教室)

○放課後の取組み

・児童・生徒の基礎学力の定着を図ります。児童の放課後の居場所づくりを行います。(補習教室)

むすぶひびくめく
きらめく



小中合同あいさつ運動



英語乗り入れ授業

羽村市独自の特色ある教育内容

英語教育



小学校2年生

小学校1年生から英語教育を行います。
小学校では「聞くこと」「話すこと」の音声面を中心とした英語を用いたコミュニケーションの素地を育てます。
中学校では小学校での経験をもとに「読むこと」「書くこと」を加えることで、4つの技能を9年間を通して総合的に育てます。



中学校1年生

羽村学（郷土学習）

前期「羽村に親しむ」中期「羽村にかかわる」
後期「羽村の明日をつくる」をテーマに羽村の郷土を愛し、羽村のよさに気づき、これからの羽村に生きる人々の生活、文化や環境などを守っていくことのできる態度と、それらを生かした実践力を育てます。



稲作体験



羽村市総合防災訓練



昔遊び



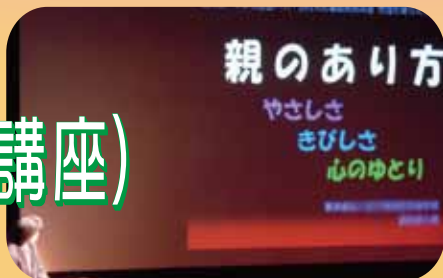
職場体験学習

人間学（キャリア教育）

前期「友達と学ぼう」中期「自分を見つめよう」
後期「社会へ向かって」をテーマに児童・生徒や地域との相互交流活動や学習を積み重ねる中で自己肯定感をもてるようにすることや、自らの生き方について考え、主体的に取り組み、実践できる力を育てます。

親学

（家庭教育講座）



親学（家庭教育講座）

家庭教育に対する支援を行うためにPTAと連携を図りながら、「子どもに身に付けさせておきたい力」や「現在の子どもの取り巻く環境」などについて保護者や地域に情報提供するための講座等を実施します。